

1. これまでの小委員会活動について

成熟したシビルエンジニア活性化小委員会は、2007年より活動を開始し、これまで多くの関係者が委員及び幹事として携わっている。本章では、過去に携わってきた委員の構成や活動内容について記す。

内容

- 1.1. 委員構成と活動内容
- 1.2. 過去の活動報告・成果一覧（活動報告からの抜粋）

1.1. 委員構成と活動内容

1.1.1. 平成 19 年度～平成 20 年度

(1) 委員構成

- 委員長：駒田智久
- 委員構成：コンサル系 6 名、GC 系 3 名、行政 1 名、大学等 1 名、メディア 1 名

(2) 活動内容

- H19.11 発足(親委員会委員長；川島一彦東工大教授)
- 人材結合システムのあり方(求職側と求人側のマッチングシステム)
- 新しい公共及びソーシャルビジネスの現状
- 建設系 NPO の現状と中間支援組織の必要性
- わが国と成熟したシビルエンジニアの活性化推進の研究

(3) 対外発信・アウトプット等

- H20.5 シンポジウム「成熟したシビルエンジニア、その活性化に向けて」
- H20 年度報告書

1.1.2. 平成 21 年度～平成 22 年度

(1) 委員構成

- 委員長：内藤堅一
- 委員構成：コンサル系 8 名、GC 系 4 名、大学等 1 名、メディア 1 名

(2) 活動内容

- H19.11 発足(親委員会委員長；川島一彦東工大教授)
- 人材結合システムのあり方(求職側と求人側のマッチングシステム)
- 新しい公共及びソーシャルビジネスの現状
- 建設系 NPO の現状と中間支援組織の必要性
- わが国と成熟したシビルエンジニアの活性化推進の研究

(3) 対外発信・アウトプット等

- H21.5 シンポジウム「NPO 活動、その多様な展開 シビルエンジニアに期待されること」
- H22.1 国交省との意見交換会「新たな公とソーシャルビジネス」
- H22.6 土木学会誌
 - CE リポート「我が国社会の持続的発展に対する土木界の役割」
 - ピックアップ「成熟したシビルエンジニアの活性化に向けて」
- H22.7 シンポジウム「新しい公共、NPO そしてソーシャルビジネス

その土木界における位置づけと展開」

- H22.11.19 土木学会理事会への提言
 - ・新しい公共と NPO 活動の重要性の認識
 - ・NPO 中間支援組織の立ち上げと運営への支援協力
(⇒建設系 NPO 中間支援組織設立準備(委員)会の設立⇒協議会～CNCN 設立へ)
- H21&22 年度報告書

1.1.3. 平成 23 年度～平成 26 年度

(1) 委員構成

- 委員長：日比野直彦 幹事長：山登武志
- 委員構成：コンサル系 8 名、GC 系 3 名、学 2 名、鉄道 1 名、メディア 1 名、その他 1 名

(2) 活動内容

- 成熟したシビルエンジニアの定年後の活動に関する考えと実態の把握
 - A.企業向けアンケートの実施と分析
「定年退職後の技術者の雇用に関する実態調査」H24 年実施
 - B.個人向けアンケートの実施と分析
「シビルエンジニアの定年退職後の活動に関する意向・実態調査」H24 年実施
- 各分野で活動する退職後の成熟したシビルエンジニアの活動経歴等の紹介

(3) 対外発信・アウトプット等

- 「企業が求めるシニア技術者と就業実態」
- シニアに学ぶ「退職後の輝き方」
 - 個別紹介(全 23 名)
松淵得郎/加藤欣一/藤田俊英/高木千太郎/佐伯光昭/正木啓子/岩木樹雄/
青山勇夫/齋藤源/尾田栄章/中西利美/井出宏/有岡正樹/安江哲/渡邊泰充/
鐘築一雄/大元守/松井謙二/山中鷹志/昌子住江/黒山泰弘/末岡徹/加藤勝美
 - 総括レポート(H27.5&H30.7)、メッセージ、委員コメント
- 土木学会 HP

1.1.4. 平成 27 年度～平成 28 年度

(1) 委員構成

- 委員長：山登武志 幹事長：加藤隆

- 委員構成：コンサル系 5 名、GC 系 3 名、学 2 名、鉄道 1 名、メディア 1 名、その他 1 名
- (2) 活動内容
- 成熟したシビルエンジニアの定年後の活動に関する考えと実態の把握
 - A.企業向けアンケートの実施と分析
 - B.個人向アンケートの実施と分析
 - 各分野で活動する退職後の成熟したシビルエンジニアの活動経歴等の紹介
- (3) 対外発信・アウトプット等
- 「企業が求めるシニア技術者と就業実態」
 - 「シビルエンジニアの定年退職後の活動に関する意向と実態」 土木学会論文集(H)71-1、2015
 - シニアに学ぶ「退職後の輝き方」
 - 個別紹介(全 23 名)
松淵得郎/加藤欣一/藤田俊英/高木千太郎/佐伯光昭/正木啓子/岩木樹雄/青山勇夫/齋藤源/尾田栄章/中西利美/井出宏/有岡正樹/安江哲/渡邊泰充/鐘築一雄/大元守/松井謙二/山中鷹志/昌子住江/黒山泰弘/末岡徹/加藤勝美
 - 総括レポート(H27.5&H30.7)、メッセージ、委員コメント
 - 土木学会誌 土木学会の動きからピックアップ H27.7「シニアに学ぶ『退職後の輝き方』」
 - タイトル以外の活動も含む小委員会活動全般の報告

1.1.5. 平成 29 年度～平成 30 年度

- (1) 委員構成
- 委員長：加藤隆 幹事長：荒谷太郎
 - 委員構成：コンサル系 5 名、GC 系 4 名、学 1 名、公的研究 2 名、鉄道 1 名、その他 1 名
- (2) 活動内容
- 成熟したシビルエンジニアの定年後の活動に関する考えと実態の把握
 - A.企業向けアンケートの実施と分析
「定年退職後の技術者の雇用に関する実態調査」 H29 年実施
 - B.個人向アンケートの実施と分析
「シビルエンジニアの定年退職後の活動に関する意向・実態調査」 H29 年実施
 - 各分野で活動する退職後の成熟したシビルエンジニアの活動経歴等の

紹介

(3) 対外発信・アウトプット等

- 「企業が求めるシニア技術者と就業実態」
- シニアに学ぶ「退職後の輝き方」
 - インタビュー総括レポート(H30.7)、メッセージ、委員コメント
- 土木学会誌 土木学会の動きからピックアップ H27.7「シニアに学ぶ『退職後の輝き方』」
 - タイトル以外の活動も含む小委員会活動全般の報告
- 土木学会 HP
 - H29年度 企業向け&個人向けアンケート結果の速報版

1.2. 過去の活動報告・成果一覧（活動報告からの抜粋）

1.2.1. 平成 21 年度

- 前回委員会(2010.1.20.)で了解を得た「土木学会への提言」は、理事会(2010.1.22.)で説明し、シンクタンク機能の立上げ等の提言の実施方策は企画委員会に付託されることになった。企画委員会への説明と引継ぎは2月3日に行った。企画委員会は4月開催で、小委員会かWGを立ち上げる予定であり、当小委員会も協力していく。
- 財政強化のためのアクション
- 「財政強化のためのアクション項目(素案)」2. 会員サービス向上に6)成熟したシビルエンジニア(高齢技術者)会員の諸活動支援の項目を追加することを事務局に提案し、アクションプランを提出した。
- H21年度は3つのワーキンググループで作業をしているが、各グループの研究成果を「平成21年度中間報告書」として発刊する。次年度に2年分の成果を纏めて「平成22年度報告書」を発刊する予定である。
- 人材結合支援システム調査グループでは、土木学会技術推進機構に活動成果を提言として提出する予定である。

1.2.2. 平成 23 年度

- 成熟したシビルエンジニアの活動実態を把握するために、土木学会会員企業にアンケート調査の依頼を実施し、3月末を期限に回答を受付け中である。
- 異分野で活躍する成熟したシビルエンジニアにインタビューを実施することとし、鹿島建設の松淵氏に対してインタビューを実施した。(3月にはパシフィックコンサルタンツの加藤欣一氏に対するインタビューを実施することに決定している)

1.2.3. 平成 24 年度

- 成熟したシビルエンジニアの定年後の活動実態の把握
 1. 企業向けアンケートの実施と分析
H24.03に土木学会会員企業200社を対象に定年後の雇用に関するアンケート調査を実施したが、4月以降にそのアンケート結果を整理分析した。約130社からの回答が有り、再雇用率が65%、再雇用者に望む役割は能力・経験を実務に活かすことが96%(複数回答)であることなどを明らかにした。
 2. 個人向けアンケートの実施と分析

H24.12 に土木技術者を対象に定年退職後の活動に関する意識調査をアンケート方式で実施した。現在整理分析中であるが、回答者数は約 2,300 人で、定年退職後に行いたいこと（複数回答）が現在の組織・企業での就業（43%）や趣味・習い事等（46%）が多いことなどを明らかにした。

- 各分野で活躍する成熟したシビルエンジニアの活動経歴等の紹介

H24.01 から順次インタビューを実施し、これまでに 5 名の方に対してインタビューを実施した。今年度中に更に 1~2 名の方に対して実施する予定である。インタビュー実施済みの最初の 3 名の方については、今年度中に当小委員会のホームページ上でインタビュー記事を公開するべく作業中である。

1.2.4. 平成 25 年度

- 土木学会の会員企業を対象に実施したアンケート調査結果の速報版を小委員会のウェブ上にアップロードした。また調査結果を分析し報告書形式にまとめた。この中で、団塊世代の退職の実態、定年退職後の就業の現実、企業が期待するシニア技術者の役割などについて把握することができた。
- 土木学会の個人会員を対象に実施したアンケート調査結果の速報版を小委員会のウェブ上にアップロードした。また調査結果を分析し論文形式にまとめた。この中で、定年退職後の活動意向と実態との関連、シニア技術者の就業継続に対する意見などについて把握することができた。
- 各分野でいきいきと活動している 8 名の成熟したシビルエンジニアに対するインタビューを実施した。この内 5 名の方のインタビュー記事を小委員会のウェブ上にアップロードした。

1.2.5. 平成 26 年度

- シビルエンジニアの定年退職に関する実態の論文集及び学会誌への発表
個人アンケートについては土木学会論文集に投稿中である。組織アンケートについても学会誌 7 月号掲載予定（連載記事：土木学会の動きからピックアップ）である。
- 成熟したシビルエンジニアに対するインタビュー記事の紹介
これまでに 12 名の方のインタビュー記事（タイトル：シニアに学ぶ退職後の輝き方）を小委員会の HP にアップロードしている。フェイスブックともリンクさせて閲覧者を増やす工夫をしている。
- 紹介したインタビュー記事の総括報告（定年退職後もいきいきと活動していくためには現役時代に何が必要であるかを示す）本年 1 月から作業に着手したところである。

1.2.6. 平成 27 年度

- 成熟したシビルエンジニアに対するインタビューを継続して実施した。
(H27 年度：合計 5 回実施)
- インタビュー結果(記事)を土木学会の小委員会 HP 上ならびに Facebook ページ上に公開した。(H27 年度：合計 6 回分をアップロード) Facebook ページでのシェア等が行われた結果、述べ 1 万人以上のページ閲覧があった。
- インタビュー記事の分析として、第 1 回～10 回までの記事の分析を行った記事や、委員からの意見を掲載した記事を小委員会 HP ならびに Facebook ページ上にて公開した。

1.2.7. 平成 28 年度

- 成熟したシビルエンジニアに対するインタビュー記事を作成し、委員会ホームページにアップロードした。
2017 年度は第 19 回～21 回までの 3 件の記事をアップロードし、第 22 回(1 件)の記事を執筆中、さらに第 23 回(1 件)についてインタビューを準備中。
- アップロードした記事は、委員会の Facebook ページでも公開し、記事の読者を増やすよう取り組んだ。
- 紹介したインタビュー記事の総括報告を行う予定であり、第 11 回～20 回の記事の総括を委員会にて実施し、結果を委員会ホームページ上に公開予定。

1.2.8. 平成 29 年度

- シビルエンジニアが担うべき役割や期待されている役割を把握するために企業向けにアンケート調査を実施し、定年退職後のシビルエンジニア雇用に関する実態を把握した。
- 定年退職を迎えた人、これから迎える人等土木に関わるすべての人を対象にした個人向けアンケート調査を実施し、シビルエンジニアの定年退職後の活動に関する意向・実態を把握した。
- 上記の 2 つの速報版を委員会 HP に掲載する予定である。
- これまで実施してきた退職後にも活躍されているシビルエンジニアを対象にしたインタビュー調査の総括を実施し、委員会 HP 等に掲載する予定である。

1.2.9. 平成 30 年度

- これまで実施してきた退職後にも活躍されているシビルエンジニアを対象にしたインタビュー調査の総括を実施し、委員会 HP 等に掲載した。
- シビルエンジニアが担うべき役割や期待されている役割を把握するために行った企業向けアンケート調査の結果について実態分析を行った。
- 定年退職を迎えた人、これから迎える人等土木に関わるすべての人を対象にした個人向けアンケート調査の結果について実態分析を行った。
- 上記の 2 つについて速報版を土木学会年次学術講演会にて発表を行った。